



8月ほけんだより

尚徳福祉会
新宿ベアーズ
看護師

2025年8月1日

今年の猛暑は危険な暑さです。気温だけでなく、湿度や輻射熱によって熱中症のリスクが上がります。熱中症のリスクが高い時は短時間の外出にするなど注意しましょう。幼児クラスの熱中症保健指導では、“熱中症になったらどうなる？”の質問に「頭が痛くなる」「気持ち悪くなる」など、よく覚えていてくれました。予防についても絵を見て、「帽子をかぶる」「お茶を飲む」「早く寝る」や「朝ごはんを食べる」と正しく答えていました。ご家庭でも早期対処が大切です。ぜひ、7月の保健だよりや園の掲示もご参照ください。

また、プールや海へお出かけのご予定も多いかと思います。

夏場は水の事故が増えます。乳幼児は水深10cmでも溺れてしまうので、子どもから目を離さないことがとても大切です。



水回りの事故

子どもは静かに溺れます…

溺れた状況を理解できなかったり、呼吸することに精いっぱいだったりして声を出さず、静かに溺れると考えられています。



ビニールプールで
ちょっと目を離した
間に溺れた。



ライフジャケットを
着用していなかった
ため、溺れた。



ため池に柵が
なかったため
溺れた。



大人のシャンプー
中に溺れた。
浮き輪を使ってい
たが溺れた。



鍵がかかっていない
浴室で子どもが浴槽
をのぞいて落ちて溺
れた。



水を溜めたまま
の洗濯機に落ち
て溺れた。

-子ども家庭庁-

事故防止ハンドブック参照

かぜ症候群って何？

7月にはかぜ症状でお休みされる子が数名いました。“普通の風邪です”と言われることが多い“かぜ症候群”もウイルスによるものがほとんどです。

かぜ症候群とは

鼻やのど、気管支、肺などの呼吸器に急性の炎症をきたす疾患の総称です。

あらゆる年齢層に発症し、大半の人が罹患する最も身近な疾患です。

診断名はさまざま

- ・インフルエンザ ・RSウイルス感染症
- ・ライノウイルス（いわゆる「鼻かぜ」） ・上気道炎（咽頭炎、扁桃炎など）
- ・ヘルパンギーナ ・下気道炎（気管支炎、肺炎など） ・咽頭結膜熱

かぜ症候群の原因となる病原体

種類は200種類以上あります

- ウイルスが80～90%：ライノウイルス・RSウイルス・エンテロウイルス
- ・パラインフルエンザウイルス・コロナウイルス・インフルエンザウイルス
- ・ヒトメタニューモウイルス・アデノウイルス その他
- 細菌、その他：10～20%

予防は？

アルコールが効きにくいウイルスもあります。

基本は手洗い・うがいが一番の予防になります。

7月に園で流行った病気

- 発熱 …………… 8名
- アデノウイルス感染症 …………… 1名
- パラインフルエンザ …………… 2名
- ライノウイルス（鼻風邪） …… 1名
- 嘔吐・発熱 …………… 1名

8月のほけん行事

- 8月 6日(水)… 3・4・5歳児 身体計測
- 8月 7日(木)… 0・1・2歳児 身体計測
- 8月21日(木)… 0歳児健診